

天明校区新校準備会だより



第7号

第7回新校準備会を開催

第7回新校準備会の概要

6月16日（金）19時より、天明まちづくりセンターA会議室にて第7回「新校準備会」を開催しました。各校区の自治協議会会長、各校の校長及びPTA会長、天明地区の保育園の保護者代表の14名が参加されました。

今年度初めての新校準備会を開催するということで、新校準備会の設置や検討・協議する内容等を定めた規約の確認を行いました。また、天明校区義務教育学校の設置に向けたこれまでの経緯について教育委員会事務局から委員の方々にご説明し、意見交換を行いました。

また、小規模特認校制度についてもお知らせしました。これは複式学級がある又は複式学級となる見込みがある小規模校に市内のどこからでも転入学を認めるもので、天明地区では中緑小と川口小が該当します。小規模校の課題解決を図り、教育活動の活性化を目指します。令和6年度より開始予定です。

次第

- 1 開会
- 2 教育委員会あいさつ
- 3 関係者紹介
- 4 新校準備会規約について
- 5 天明校区義務教育学校設置に向けたこれまでの経緯について
- 6 天明校区施設一体型義務教育学校基本計画について
- 7 開校までに必要な検討事項について
- 8 質疑・応答
- 9 閉会

第7回新校準備会の様子



今回は、4つの班に分かれて新校に対する意見交換を活発にいただきました。各班のご意見は、代表者から発表していただき全体で共有しました。

義務教育学校基本計画について

令和4年12月策定の基本計画について、学校の特色や、施設の整備方針、想定諸室、施設の配置などについてご説明しました。

【本市初となる施設一体型義務教育学校の特色】

- ・先進的で特色あるカリキュラムを編成し、探究型の学びを充実させることで、学習意欲の向上や学力向上につなげることができる
- ・小中学校が一体化した教職員組織であるため、9年間の切れ目のない学びの提供ができる
- ・日常的な異学年交流による自己肯定感や自己有用感の高まりが期待できる

開校までに必要な検討事項について

義務教育学校の開校までに検討する事項について委員の方々にお示ししました。具体的な検討内容としては、地域部会が小学校の跡地利活用、災害対応など、学校部会が新校名・校歌、スクールバスなどです。その後、4つの班で意見交換されました。出された主なご意見は以下のとおりです。次回以降の新校準備会等において資料の共有や意見交換を行ってまいります。

【出されたご意見】★跡地の利活用について他都市の資料を提示してほしい。★小規模特認校についてどのように進めようとしているか知りたい。★門や通学路について、子どもの安全を十分に考えた案を検討していただきたい。★新校準備会の今後の見通し、スケジュールを示してほしい。

ご意見やご質問などがありましたら、熊本市教育委員会事務局の指導課もしくは教育改革推進課までお寄せください。 【指導課】096(328)2721 【教育改革推進課】096(328)2708